

1. 概要

令和6年度は、近年続いている人事院勧告に基づく給与費の増や物価高騰に伴う経費の増など、急激な費用の増加がより加速した一方、診療報酬をはじめとする財源が十分に措置されない中で、これまでにない厳しい病院運営を強いられた。

豊岡病院では、救急部門の充実をはじめとした高機能化への取り組みを進めるための新棟整備工事について、入札公告したものの参加者がなく不調となった。その要因を分析したところ、物価高騰の影響による建築費の大幅な上昇や建築業界の人手不足により工期の見通しが立ちづらいといった状況が判明し、再度の入札に向け整備計画の縮小を余儀なくされた。

出石医療センターでは、豊岡病院と共用する電子カルテが本格稼働したことで、転院時の患者情報の共有が即時に行え、かつ情報量も格段に増えるなど、よりの確な診療に大きく貢献した。

朝来医療センターでは、救急搬送患者の受入強化、豊岡病院からの転院受入促進に加え、産婦人科外来の診療枠拡大を図るなど、地域の医療需要にしっかりと応える取組みを推進した。

日高クリニックでは、有床診療所として新たなスタートを切る年となり、病床は休止しているものの引き続き透析医療の維持とともに外来診療枠を拡大するなど、地域に密着したクリニックとしての役割を果たした。

極めて厳しい経営環境の中、各病院等において経営改善に向けた地道な取組みを着実に進めたが、組合全体の経常収支では△12.5億円、純損益では△12.8億円と、それぞれ大幅な赤字を計上した結果、内部留保資金は△2億円と、5年ぶりにマイナスとなる非常に厳しい経営状況となった。

2. 収益的収支

(1) 豊岡病院

(税込、単位:床, %, 人, 円, 百万円)

項 目		R05決算	R06決算	対R05決算		R06 決算見込	R06決算	対R06 決算見込
業務量	許可病床数(稼働)	528(522)	528(522)	0(0)	-	528(522)	528(522)	0(0)
	病床稼働率	78.4	82.5	+4.1	+5.2%	82.3	82.5	+0.2
	入院患者数(1日当)	409	430	+21	+5.1%	429	430	+1
	(入院単価)	(68,707)	(70,800)	(+2,093)	(+3.0%)	(70,321)	(70,800)	(+479)
	外来患者数(1日当)	906	912	+6	+0.7%	906	912	+6
	(外来単価)	(20,703)	(20,281)	(△422)	(△2.0%)	(20,530)	(20,281)	(△249)
収益的収支	医業収益	15,159	15,959	+801	+5.3%	15,884	15,959	+75
	入院収益	10,292	11,124	+832	+8.1%	11,021	11,124	+104
	外来収益	4,559	4,495	△64	△1.4%	4,521	4,495	△26
	その他医業収益	307	340	+33	+10.6%	342	340	△2
	医業費用	18,374	19,647	+1,273	+6.9%	19,743	19,647	△96
	給与費	9,407	10,042	+635	+6.8%	10,115	10,042	△73
	材料費	5,033	5,397	+364	+7.2%	5,410	5,397	△13
	経費	2,706	2,851	+145	+5.4%	2,863	2,851	△12
	その他医業費用	1,228	1,357	+128	+10.4%	1,355	1,357	+1
	医業収支	△3,216	△3,687	△472	-	△3,859	△3,687	+172
	医業外収益	3,207	3,071	△135	△4.2%	3,080	3,071	△9
	分賦金(3条)	1,439	1,536	+97	+6.8%	1,536	1,536	0
	長期前受金戻入額	854	810	△44	△5.2%	811	810	△1
	コロナ補助金	157	0	△157	皆減	0	0	0
	その他	757	725	△32	△4.2%	733	725	△8
	医業外費用	252	247	△4	△1.7%	256	247	△8
	経常収支(A)	△261	△864	△603	-	△1,035	△864	+171
	特別収支(B)	6	4	△2	-	2	4	+2
	純損益(A)+(B)	△255	△859	△605	-	△1,033	△859	+174

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

(対R05決算)

①. 医業収益

15,959百万円 (+801百万円、+5.3%)

- i 入院収益：11,124百万円 (+832百万円、+8.1%)
 患者数：430人 (+21人/日、+5.1%)：ベッドコントロールの効率化による病床稼働率の向上
 単価：70,800円 (+2,093円、+3.0%)：単価の高いECU病床の稼働率向上、
 ベースアップ評価料等新規施設基準取得による増加
- ii 外来収益：4,495百万円 (△64百万円、△1.4%)
 患者数：912人 (+6人/日、+0.7%)：眼科 移転後(R5.5月)の平年度化による患者数の増加等
 1日あたり患者数 R5:46人/日 R6:53人/日 (+7人/日)
 単価：20,281円 (△422円、△2.0%)：患者数増加に伴う医療密度の減少等

[実績比較]

○手術件数	R5：4,586件	⇒	R6：4,983件 (+397件、+8.6%)
○救急患者数	R5：13,087人	⇒	R6：13,706人 (+619人、+4.7%)
救急搬送	R5：6,651人	⇒	R6：6,526人 (△125人、△1.9%)
ウォークイン	R5：6,436人	⇒	R6：7,180人 (+744人、+11.6%)

②. 医業費用

19,647百万円 (+1,273百万円、+6.9%)

- i 給与費の増加：給与改定(人勧)による増加、会計年度職員の勤勉手当支給開始等 +635百万円
- ii 材料費の増加：物価高騰及び収益連動に伴う診療材料費の増加等 +364百万円
- iii 経費の増加：光熱水費の増、最低賃金引き上げに伴う各種委託費の増加等 +145百万円
- iv 減価償却費の増加：新規償却資産(R5取得：医療情報システム等)による増加等 +158百万円

③. 医業外収益

3,071百万円 (△135百万円、△4.2%)

- i コロナ補助金の減少：空床補償補助金の終了 △157百万円
- ii 分賦金の増加：医師確保対策経費の増加等 +97百万円
- iii 長期前受金戻入額の減少：高額器械(H29取得：MRI)償却終了に伴う減 △43百万円

④. 医業外費用

247百万円 (△4百万円)

- i 雑損失の減少：奨学金返還免除額のうち引当未処理額の減少等 △7百万円

⑤. 経常収支

△864百万円 (△603百万円)

⑥. 特別収支

4百万円 (△2百万円)

- i 特別利益の減少：保有地(豊岡市千代田町)売却益の終了等 △1百万円

⑦. 純損益

△859百万円 (△605百万円)

(2) 出石医療センター

(税込、単位:床, %, 人, 円, 百万円)

項 目		R05決算	R06決算	対R05決算		R06 決算見込	R06決算	対R06 決算見込
業務量	許可病床数(稼働)	55(40)	55(40)	0(0)	-	55(40)	55(40)	0(0)
	病床稼働率	73.9	81.3	+7.4	+10.0%	80.9	81.3	+0.4
	入院患者数(1日当)	30	33	+3	+10.0%	32	33	+1
	(入院単価)	(29,657)	(29,330)	(△327)	(△1.1%)	(29,094)	(29,330)	(+236)
	外来患者数(1日当)	71	71	0	0.0%	69	71	+2
	(外来単価)	(8,500)	(8,759)	(+259)	(+3.0%)	(8,811)	(8,759)	(△52)
収益的 収支	医業収益	497	527	+30	+6.1%	521	527	+6
	入院収益	321	348	+27	+8.5%	344	348	+4
	外来収益	146	150	+4	+2.8%	148	150	+2
	その他医業収益	30	29	△1	△3.6%	29	29	△0
	医業費用	789	857	+68	+8.6%	866	857	△9
	給与費	569	581	+12	+2.2%	584	581	△3
	材料費	70	72	+2	+2.4%	74	72	△2
	経費	96	131	+35	+36.9%	135	131	△3
	その他医業費用	54	72	+18	+34.4%	74	72	△2
	医業収支	△292	△330	△38	-	△345	△330	+15
	医業外収益	225	257	+32	+14.1%	258	257	△1
	分賦金(3条)	184	202	+18	+9.9%	202	202	0
	長期前受金戻入額	33	47	+14	+41.8%	48	47	△1
	コロナ補助金	0	0	0	0.0%	0	0	0
	その他	8	7	△0	△4.1%	8	7	△0
	医業外費用	9	8	△1	△10.5%	10	8	△1
	経常収支(A)	△77	△82	△5	-	△97	△82	+16
	特別収支(B)	0	0	+0	-	0	0	△0
	純損益(A)+(B)	△77	△81	△5	-	△97	△81	+16

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

(対R05決算)

①. 医業収益 527百万円(+30百万円、+6.1%)

- i 入院収益: 348百万円(+27百万円、+8.5%)
患者数: 33人(+3人/日、+10.0%): 豊岡病院からの転院患者の積極的受入による増加
単価: 29,330円(△327円、△1.1%): 地域包括ケア病床入院患者比率の減少等
- ii 外来収益: 150百万円(+4百万円、+2.8%)
患者数: 71人(±0人、±0.0%): 概ね昨年度並
単価: 8,759円(+259円、+3.0%): 生活習慣病管理料の新規算定による増加等

②. 医業費用 857百万円(+68百万円、+8.6%)

- i 給与費の増加: 給与改定(人勧)による増加、会計年度職員の勤勉手当支給開始等 +12百万円
- ii 経費の増加: 医事業務の委託化、医療情報システム保守開始による委託費の増加等 +35百万円
- iii 減価償却費の増加: 新規償却資産(医療情報システム)による増加等 +18百万円

③. 医業外収益 257百万円(+32百万円、+14.1%)

- i 分賦金の増加: 不採算地区病院運営経費の増加(稼働病床の増加) +18百万円
- ii 長期前受金戻入額の増加: R5取得 高額器械(医療情報システム) 償却開始による増 +15百万円

④. 医業外費用 8百万円(△1百万円)

⑤. 経常収支 △82百万円(△5百万円)

⑥. 特別収支 +0百万円(+0百万円)

⑦. 純損益 △81百万円(△5百万円)

(3) 朝来医療センター

(税込、単位:床, %, 人, 円, 百万円)

項 目		R05決算	R06決算	対R05決算		R06 決算見込	R06決算	対R06 決算見込
業務量	許可病床数(稼働)	149(149)	149(149)	0(0)	-	149(149)	149(149)	0(0)
	病床稼働率	59.4	62.9	+3.5	+5.9%	60.8	62.9	+2.1
	入院患者数(1日当)	89	94	+5	+5.6%	91	94	+3
	(入院単価)	(34,475)	(33,351)	(△1,124)	(△3.3%)	(33,496)	(33,351)	(△145)
	外来患者数(1日当)	150	152	+2	+1.3%	152	152	0
	(外来単価)	(8,752)	(9,066)	(+314)	(+3.6%)	(8,995)	(9,066)	(+71)
収益的 収支	医業収益	1,479	1,523	+44	+3.0%	1,486	1,523	+36
	入院収益	1,118	1,141	+23	+2.1%	1,107	1,141	+34
	外来収益	319	335	+16	+5.1%	332	335	+3
	その他医業収益	43	47	+4	+10.3%	48	47	△0
	医業費用	2,054	2,124	+71	+3.4%	2,141	2,124	△17
	給与費	1,168	1,183	+15	+1.3%	1,184	1,183	△1
	材料費	238	229	△8	△3.5%	237	229	△7
	経費	408	423	+15	+3.6%	431	423	△9
	その他医業費用	240	290	+49	+20.6%	289	290	+1
	医業収支	△575	△602	△27	-	△655	△602	+53
	医業外収益	436	438	+2	+0.5%	438	438	△0
	分賦金(3条)	220	240	+20	+9.3%	240	240	0
	長期前受金戻入額	137	187	+50	+36.6%	188	187	△1
	コロナ補助金	64	0	△64	皆減	0	0	0
	その他	15	10	△4	△29.0%	10	10	+0
	医業外費用	36	36	△0	△0.8%	38	36	△2
	経常収支(A)	△175	△200	△25	-	△254	△200	+54
	特別収支(B)	0	△0	△0	-	△0	△0	+0
	純損益(A)+(B)	△175	△200	△25	-	△254	△200	+54

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

(対R05決算)

①. 医業収益 1,523百万円 (+44百万円、+3.0%)

- i 入院収益: 1,141百万円 (+23百万円、+2.1%)
 患者数: 94人(+5人/日、+5.6%): 積極的な転院受入及び救急搬送受入による増加等
 単価: 33,351円(△1,124円、△3.3%): 手術件数の減少に伴う単価減等

〔実績比較〕

- 整形外科手術件数 R5: 331件 ⇒ R6: 181件(△150件, △45.3%)
 ○救急搬送受入件数 R5: 415件 ⇒ R6: 427件(+12件, +2.9%)

- ii 外来収益: 335百万円 (+16百万円、+5.1%)
 患者数: 152人(+2人/日、+1.3%): 産婦人科外来開設による増加等
 単価: 9,066円(+314円、+3.6%): 整形外科リウマチ治療(生物学的製剤)の増加等

②. 医業費用 2,124百万円 (+71百万円、+3.4%)

- i 給与費の増加: 給与改定(人勸)による増加、会計年度職員の勤勉手当支給開始等 +15百万円
 ii 経費の増加: 光熱水費の増、最低賃金引き上げに伴う各種委託費の増加等 +15百万円
 iii 減価償却費の増加: 新規償却資産(医療情報システム)による増加等 +48百万円

③. 医業外収益 438百万円 (+2百万円、+0.5%)

- i 分賦金の増加: 医師確保対策経費の増加等 +20百万円
 ii コロナ補助金の減少: 空床補償補助金の終了 △64百万円
 iii 長期前受金戻入額の増加: R5取得 高額器械(医療情報システム)償却開始による増 +50百万円

④. 医業外費用 36百万円 (△0百万円)

⑤. 経常収支 △200百万円 (△25百万円)

⑥. 特別収支 △0百万円 (△0百万円)

⑦. 純損益 △200百万円 (△25百万円)

(4) 日高クリニック

(税込、単位:床, %, 人, 円, 百万円)

項 目		R05決算	R06決算	対R05決算		R06 決算見込	R06決算	対R06 決算見込
業務量	許可病床数(稼働)	60(42)	19(0)	△41(△42)	-	19(0)	19(0)	0(0)
	病床稼働率	(23.3)	0.0	-	-	0.0	0.0	0
	入院患者数(1日当)	(10)	0	-	-	0	0	0
	(入院単価)	(52,032)	(0)	-	-	(0)	(0)	0
	外来患者数(1日当)	191	189	△2	△1.0%	189	189	0
	(外来単価)	(15,769)	(15,160)	(△609)	(△3.9%)	(15,395)	(15,160)	(△235)
収益的収支	医業収益	809	757	△52	△6.4%	762	757	△5
	入院収益	15	0	△15	△99.8%	0	0	+0
	外来収益	734	698	△36	△4.9%	706	698	△8
	その他医業収益	60	59	△1	△1.1%	56	59	+3
	医業費用	1,062	989	△72	△6.8%	988	989	+1
	給与費	622	587	△35	△5.7%	586	587	+0
	材料費	172	125	△48	△27.8%	129	125	△4
	経費	202	205	+3	+1.6%	198	205	+7
	その他医業費用	66	73	+8	+11.7%	76	73	△2
	医業収支	△253	△232	+20	-	△226	△232	△6
	医業外収益	226	138	△89	△39.2%	138	138	△0
	分賦金(3条)	152	72	△80	△52.7%	72	72	0
	長期前受金戻入額	51	61	+10	+18.9%	61	61	+0
	コロナ補助金	0	0	0	0.0%	0	0	0
	その他	23	5	△18	△79.5%	5	5	△0
	医業外費用	10	10	+0	+4.7%	12	10	△2
	経常収支(A)	△36	△105	△69	-	△100	△105	△5
	特別収支(B)	△0	△0	+0	-	△0	△0	+0
	介護収支(C)	△31	△29	+1	-	△27	△29	△3
	純損益(A)+(B)+(C)	△67	△134	△67	-	△127	△134	△7

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

※日高クリニックの令和5年度入院患者数及び入院単価は、4月の1か月分を表記している。

(対R05決算)

①. 医業収益 757百万円 (△52百万円、△6.4%)

i 外来収益: 698百万円 (△36百万円、△4.9%)

患者数: 189人(△2人/日、△1.0%): 概ね昨年度並

単価: 15,160円(△609円、△3.9%): 診療単価の高い眼科移転(R5.5)後の平年度化による減少

②. 医業費用 989百万円 (△72百万円、△6.8%)

i 給与費の減少: 眼科移転による職員数減少の平年度化による減少

△35百万円

ii 材料費の減少: 眼科移転後の平年度化による薬品費の減少等

△48百万円

iii 減価償却費の増加: 新規償却資産(医療情報システム)による増加等

+7百万円

③. 医業外収益 138百万円 (△89百万円、△39.2%)

i 分賦金の減少: 不採算地区病院運営経費(稼働病床)の減少等

△80百万円

ii 長期前受金戻入額の増加: R5取得 高額器械(医療情報システム)償却開始による増

+10百万円

iii 補助金の減少: 病院機能再編支援給付金の受入終了(急性期→回復期への機能転換)

△17百万円

④. 医業外費用 10百万円 (+0百万円)

⑤. 経常収支 △105百万円 (△69百万円)

⑥. 特別収支・介護収支 △29百万円 (+1百万円)

⑦. 純損益 △134百万円 (△67百万円)

(5) 事業合計

(税込、単位:百万円)

項 目		R05決算	R06決算	対R05決算		R06 決算見込	R06決算	対R06 決算見込
収益的 収 支	医業収益	17,943	18,766	+823	+4.6%	18,654	18,766	+112
	入院収益	11,746	12,613	+867	+7.4%	12,472	12,613	+141
	外来収益	5,757	5,678	△80	△1.4%	5,707	5,678	△29
	その他医業収益	440	476	+35	+8.0%	475	476	+0
	医業費用	22,279	23,618	+1,339	+6.0%	23,739	23,618	△121
	給与費	11,766	12,393	+627	+5.3%	12,470	12,393	△77
	材料費	5,513	5,822	+309	+5.6%	5,849	5,822	△27
	経費	3,411	3,610	+199	+5.8%	3,627	3,610	△16
	その他医業費用	1,588	1,792	+204	+12.8%	1,794	1,792	△2
	医業収支	△4,336	△4,851	△516	-	△5,085	△4,851	+234
	医業外収益	4,094	3,903	△190	△4.7%	3,914	3,903	△10
	分賦金(3条)	1,995	2,050	+56	+2.8%	2,050	2,050	0
	長期前受金戻入額	1,076	1,105	+30	+2.8%	1,108	1,105	△2
	コロナ補助金	221	0	△221	皆減	0	0	0
	その他	802	747	△55	△6.8%	755	747	△8
	医業外費用	307	302	△5	△1.6%	315	302	△14
	医業外収支	3,787	3,602	△185	-	3,598	3,602	+3
	経常収支(A)	△549	△1,250	△701	-	△1,487	△1,250	+237
	特別収支(B)	6	4	△1	-	2	4	+2
	介護収支(C)	△31	△29	+1	-	△27	△29	△3
	純損益 (A)+(B)+(C)	△574	△1,275	△701	-	△1,512	△1,275	+236

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

3. 資本的収支

(税込、単位:百万円)				
	R05決算	R06決算	増減	主な内容
資本的収入(A)	4,690	2,525	△2,165	-
企業債	3,172	922	△2,250	建設改良事業の整備財源
負担金	1,412	1,475	+62	構成市負担金
他会計長期借入金	20	30	+10	医師修学資金貸付金に係る財源
補助金	57	70	+13	救急・精神に対する県補助金
投資回収金	29	24	△4	修学資金貸付金の返済
その他	0	4	+4	固定資産売却代金、寄附金
資本的支出(B)	5,579	3,349	△2,230	-
建設改良費	3,269	973	△2,296	施設及び医療器械整備費
償還金	2,232	2,282	+50	借入済企業債の返済
その他	78	94	+16	修学資金等の貸付金
収支不足額(A)-(B)	△888	△824	+65	-

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

(対R05決算)

(1) 資本的支出 (5,579百万円⇒3,349百万円) △2,230百万円

① 建設改良費 (3,269百万円⇒973百万円) △2,296百万円

ア. 施設整備事業 (366百万円⇒429百万円) +63百万円

(429百万円のうち、主なもの)

豊岡病院	正面駐車場造成・拡張整備工事	53百万円
	直流電源装置充電池更新工事	13百万円
日高クリニック	耐震整備工事 (機能移転)	305百万円

イ. 医療器械整備事業 (2,903百万円⇒544百万円) △2,359百万円

(544百万円のうち、主なもの)

豊岡病院	生体情報モニター式	81百万円
	診断用X線撮影装置	29百万円
	超音波洗浄装置	24百万円
	内視鏡システム	22百万円
	手術台システム	21百万円
朝来医療センター	X線骨密度測定装置	7百万円
日高クリニック	超音波画像診断装置	7百万円

② 償還金 (2,232百万円⇒2,282百万円) +50百万円

(2) 資本的収入 (4,690百万円⇒2,525百万円 : △2,165百万円)

① 企業債 (3,172百万円⇒922百万円) △2,250百万円

② 負担金 (1,412百万円⇒1,475百万円) +62百万円

③ 補助金 (57百万円⇒70百万円) +13百万円

4. 年度末内部留保資金

(単位:百万円)			
	R05決算	R06決算	増減
前年度末内部留保資金 A	2,082	1,222	△859
当該年度変動額 B	△859	△1,425	△566
(1) 収益的収支による増減	29	△601	△630
① 純損益	△574	△1,275	△701
② 資金変動を伴わない費用等	991	1,164	+173
③ 退職給与支給額	△388	△490	△102
(2) 資本的収支による増減	△888	△824	+65
当年度末内部留保資金 (A+B)	1,222	△202	△1,425

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。